

総合的な
学習の時間

第3学年

海田町立海田西中学校

指導者 柚中 朗
沖田 梨絵
瀬崎 由香
菊池 圭祐

単
元
名

ふれあい体験学習

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力, 主体性, 自らへの自信, チャレンジ精神

1 単元について

(1) 生徒観

本学年の生徒は、全体的に活動的ではあるが落ち着いて学習に取り組むことができている。3学年になって行われる、技術・家庭科（家庭分野）での保育園訪問に関して楽しみにしている生徒が多く、昨年度の3学年の活動を見て、「楽しそうでやってみたい。」「自分たちで企画して園児さんたちに楽しんでもらいたい。」と生徒は考えている。

7月に行った生徒アンケートでは、「授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。」の項目に肯定的な回答は約88%で、そのうち「よく当てはまる」と答えた生徒は約16%であった。また、「学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」を考えています。」の項目に肯定的な回答は、約89%で、そのうち「よく当てはまる」と答えた生徒23%であった。このアンケート結果から、肯定的な回答の割合は高いが、他の項目と比較すると「よく当てはまる」と答えた生徒の割合が低いことがわかり、情報収集をする際によりよい方法を考えることや学習の振り返りの際に新たな課題を見つけることに課題があると言える。

(2) 単元観

本単元は、本校の総合的な学習の時間の目標である「自分と地域とのかかわりについて、探求的な活動を通して、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。」の仕上げとなる単元である。保育園児を学校へ招く体験学習は、家庭科で学習した保育の知識や保育園訪問での体験や観察などをもとに、生徒自ら課題を見つけ、それを整理・分析し、企画・立案し、実施して行く。より多くの情報を収集、整理・分析するだけでなく、園児にとってよりよい場をつくるために、生徒自らが主体的に調べ、考える力を身につけられるだけでなく、実際に招待することにより自らの自信をえることができると考える。

また、この体験は、自己の成長を振り返り、家族との絆について考える機会となるとともに、将来の生き方や地域に貢献しようとする態度を養うことへつながると考える。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、家庭科の保育園訪問の体験から、課題と感じた点を整理させ、新しいグループでの遊びの計画や製作につなげ、園児とのふれあいの会を企画させる。

情報収集に当たっては、保育園訪問で実際に体験したことや、技術・家庭科（家庭分野）の授業で学習したことを整理・分析し、計画・製作をさせていく。また、グループでテーマごとに活動をさせ、園

児の立場に立って、よりよいものを作り上げられるように関わり合いながら作業させていきたい。その際には、相手にとってよいものは何かという視点の中で意見を交わし、思考を広げさせる。また、毎時間の活動を振り返ることで、次時の活動にいかしていく。

活動を「楽しい」だけでは終わらせず、毎時間の活動の振り返りを大切に、相手にとってよいものは何かの視点の中で活動させ、自分たちにできる地域貢献について気づき、考えさせていきたい。

2 単元の目標

- 自らが課題を発見したり、選択したり、構成したりすることができる。
- 見通しを持って解決の計画を立てることができる。

【知識及び技能】

- 目的にあった情報を収集、選択、処理することができる。
- 調べたことや、それらについての自分の考えを整理し、分かりやすく表現することができる。
- 仲間と協力して課題に取り組むことができる。

【思考力・判断力・表現力等】

- 意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。
- いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重することができる。

【学びに向かい合う力、人間性等】

3 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性
<ul style="list-style-type: none"> ・自らが課題を発見したり、選択したり、構成したりすることができる。 ・見通しを持って解決の計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的にあった情報を収集、選択、処理することができる。 ・調べたことや、それらについての自分の考えを整理し、分かりやすく表現することができる。 ・仲間と協力して課題に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。 ・いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重することができる。

4 本単元において育成したい資質・能力

【課題発見・解決力】

自らが課題を発見したり、選択したり、構成したりすることで課題解決することができる。

【主体性】

自ら発見した課題の解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。

【自らへの自信】

課題解決のための体験や活動を通して、将来の自分について考えようとしている。

【チャレンジ精神】

いろいろな体験や活動に興味を持ち、積極的に取り組んでいる。

5 指導と評価の計画（38時間）

時	学習内容	評価			
		知	思	学	評価規準 (評価方法)
2	<p>課題の設定【見通し】</p> <p>○総合的な時間の「ねらい」や「身につけたい能力」等を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>○ふれあい体験学習で大切にすることを確認する。</p> <p>○担当する幼児の年齢に合った遊びを考える。</p>	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って解決の計画を立てている。 (ワークシート・行動観察) ・意欲的に問題解決に向けて取り組んでいる。 (ワークシート・行動観察)
2	<p>情報の収集【協働】</p> <p>○年齢ごとのおおまかな発達段階を調べ、年齢に合う遊びを調べる。</p>		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・目的にあった情報を収集、選択、処理している。 (ワークシート) ・仲間と協力して課題に取り組んでいる。 (ワークシート)
9	<p>整理・分析【振り返り】</p> <p>○担当する幼児の年齢に合った遊びのルールを考え、おもちゃの製作を行う。</p> <p>○実際に幼児とふれあい、遊びや時間配分などは良かったかをまとめる。</p>		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことや、それらについての自分の考えを整理し、分かりやすく表現することができる。 (ワークシート・行動観察・制作物) ・意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。 (ワークシート・行動観察・制作物)
1	<p>情報の収集</p> <p>○昨年度のふれあい体験の様子を知る。</p> <p>○今年度のふれあい体験への招待する園児の数を調べる。</p>	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って解決の計画を立てている。 (ワークシート)

15	<p>整理・分析【協働】</p> <p>○幼児を招く会を開く上で必要なことなどを考える。</p> <p>○会の名称・内容を考える。</p> <p>○グループごとに課題を設定する。</p> <p>○年長の園児に合う遊びやおもちゃの製作の企画書を書く。</p> <p>○製作活動を行う。</p> <p>○活動を振り返り、ふれあいの会がよりよいものになるように活動する。</p> <p>【本時14/15】</p>	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見したり、選択したり、構成している。(ワークシート・行動観察・制作物) ・仲間と協力して課題に取り組んでいる。(ワークシート・行動観察・制作物) ・意欲的に問題解決に向けて取り組んでいる。(ワークシート・行動観察・制作物)
5	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>○園児を招待し、ふれあいの会を行う。</p> <p>○活動のまとめを行う。</p>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して課題に取り組んでいる。(行動観察・ワークシート) ・いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重している。(行動観察・ワークシート)
3	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>○これまでの活動をポスターにまとめる。</p> <p>○文化祭でステージでの発表やポスターの展示発表、製作したおもちゃの展示を行う。</p>	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことや、活動について自分の考えを整理し、わかりやすく表現している。(行動観察・制作物) ・意欲的に問題解決に向けて取り組んでいる。(ワークシート・行動観察・制作物)
1	<p>振り返り【振り返り】</p> <p>○ふれあいの会や文化祭での発表をもとに、課題やねらいが達成できたか、学習のまとめをする。</p>		○	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重している。(ワークシート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めざす生徒像</p> <p>「ふれあい体験学習を通して、仲間と協力しながら園児が楽しんで遊んでくれるおもちゃを作ることができた。園児たちにお兄ちゃん(お姉ちゃん)と言われ、すごく頼りにされた。これからもいろいろな場面で、誰かの役に立つことをしていきたい。」と振り返りで書ける。</p> </div>

6 本時の展開

(1) 本時の目標

これまでの活動を振り返り，ふれあい体験を園児たちにとってよりよいものにする方法を考える。

(2) 本時の評価規準

課題を発見したり，選択したり，構成している。 (ワークシート・行動観察・制作物)

(3) 準備物

タイムテーブル原稿，台本，製作物

(4) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導 入	<p>1 前時までの振り返り ○前時の活動内容の確認する。</p> <p>2 本時の活動内容 ○本時の目標を知る。</p>	<p>・これまでの活動内容を想起させる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> これまでの活動を振り返り，ふれあい体験をよりよいものにする。 </div>			
展 開	<p>3 グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて，進捗状況の確認を行う。ふれあいの会をよりよいものにするための課題を出し合う。 ・課題を意識しながら，活動を行う。 	<p>・活動の振り返りを行う。</p>	<p>・課題を発見したり，選択したり，構成している。 (ワークシート・行動観察・制作物)</p> <p>・意欲的に問題解決に向けて取り組んでいる。 (行動観察)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 協働の場面での生徒の会話 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ・園児と遊ぶときに気をつけるのは何かな。 ・園児はどんな遊びが好きかな。 ・どんな遊びなら園児が楽しめるかな。 </div>			
ま と め	<p>4 本時のまとめ・振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児にとってよりよいものを目指すために，活動がどうであったか振り返る。 <p>5 次時の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回が活動の最終になる予定。 	<p>・課題にどのくらいまで取り組むことができたか作業の確認をさせる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 今日は○○まで進めることができた。□□すると園児が遊びやすいとグループで考えたので，次回改善し，仕上げていく。また，他のグループの意見も参考にしてみたい。 </div>			

(参考)

ふれあい体験 グループ分け

グループ	人数	活動内容
実行委員	11	・ふれあい体験の運営 ・始めの会, 終わりの会の運営 ・会場の飾り付け (主にステージ) など
おみやげ	10	・スタンプカードの製作, 体育館入り口の飾り付け ・園児にプレゼントするお土産の製作 ・園児の引率 (当日) など
体を動かす遊び	25	・体を使った遊びの立案・製作・運営 ・巨大かるた ・ぞうさんボーリング ・ボールプール ・おぼけやしき ・まとあて ・自分たちのブースの飾り付け ・園児の引率又はブースの運営 など
頭脳や指先を使う遊び	21	・頭脳や指先を使った遊びの散る案・製作・運営 ・ジェンガ ・巨大とんとん相撲 ・かるた ・わなげ ・文字パズル ・伝承あそび ・自分たちのブースの飾り付け ・園児の引率又はブースの運営 など・